

心の健康相談室

＝乳幼児から高齢者まで切れ目のない支援＝

(実施期間) 平成 25 年度～

(基金事業メニュー) 対面型相談支援・
普及啓発事業・人材育成事業

(実施経費) 平成 26 年度 6,480 千円

(実施主体) 奈良県香芝市

(6,318 千円)

【事業の背景・必要性】

香芝市では、乳幼児については保健センターによる発達相談、義務教育期においては教育委員会を中心とした支援がなされてきたが、心の健康づくりや心の支援という点では、それ以降の世代については必ずしも確立されていなかった。義務教育期から繋がる「ニート・引きこもり」「高校生での不登校」などのいわゆる若年層への支援、職場でメンタルヘルスを受けることができない働き盛り世代、また子育て世代、高齢世代までのそれぞれの世代ライフステージに対応して、一貫した幅広い支援を行う事などを目的とし、平成 25 年 4 月より保健センターにおいて、精神保健福祉の充実の観点から、市民のこころの健康の増進をめざす「臨床心理事業（心の健康相談室）」を実施している。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

香芝市は奈良県の北西部にあり、金剛生駒紀泉国定公園を挟んで大阪府に接しており、24.26 km²の小さな面積の中に JR 和歌山線、近鉄大阪線及び近鉄南大阪線が市の中心部を縦横に走り、8つの駅を有し、大阪市内へは 20 分余りという至便な所に位置している。

香芝市の人口は平成 27 年 3 月末で 78,236 人であり、年少人口、生産者人口、高齢者人口共に増加し続けている。香芝市は全国・奈良県と比べて出生率、合計特殊出生率は高く子育て世代が多い。しかし 24 年度から年少人口と高齢者人口が逆転しており、今後は高齢化が進んでいくと考えられる。

◎香芝市の自殺者数

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
自殺者数(内女性)	11 (3) 人	15 (5) 人	11 (3) 人	6 (2) 人	14 (4) 人
自殺死亡率	14.66	19.79	14.39	7.73	17.93

(出典 内閣府 地域における自殺の基礎資料 自殺日ベース・住居地)

【事業目標 事業内容】

◎事業目標

さまざまな心の問題や心の辛さで悩む人たちの解決や解消、軽減に向けての心理的支援による早期発見・早期支援による相談から解決に向けて、ライフステージに対応した総合的・専門的な心理的支援の体制の構築を図る。また、問題解決に向けて、関係機関とも連携・協調を行う。

◎事業内容

① 子供から成人までの個別相談を中心としたカウンセリング

月曜日～金曜日 9:00～17:00 完全予約制で1時間程度(初回は1時間半)の臨床心理士によるカウンセリング等を行う。

② 義務教育就学前までの児童を対象とした発達検査

- ③ 保育所などで問題点に気づいた児童を対象にした巡回相談
- ④ 発達や知能などで気になる児童生徒に対する心理検査と相談
- ⑤ 不登校児の適応指導教室への支援

【事業実施にあたっての運営体制】

実施主体は香芝市で、帝塚山大学に業務委託している。

【事業の工夫点】

- ① 平日の時間帯に相談できない人のために、年に2回日曜日に休日相談、年に3回夜間相談を行った。
- ② 多岐に渡る相談の場合は、心の健康相談室だけで問題を抱え込む事の無い様に、保健センターを中心として庁舎内各関係課との連携が取れるようにした。

【事業成果及び評価、今後の課題、その他特筆すべき点】

	平成 26 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	相談件数総数	84	75	90	113	105	92	102	85	91	94	95	110	1136
新規	カウンセリング	8	7	14	14	4	6	11	6	6	8	3	3	90
	検査	1	1	2	3	4	0	2	0	3	0	4	1	21
継続	カウンセリング	30	27	31	47	46	41	45	31	36	34	42	46	456
	検査	2	0	2	4	5	3	1	2	2	3	3	2	29
	発達相談	33	27	30	35	34	33	35	37	39	38	32	45	418
健診	1歳6か月健診	2	7	4	4	4	3	1	7	4	4	1	6	47
	3歳6か月健診	7	6	7	6	8	4	6	2	1	6	6	6	65
	コンサルテーション	1	0	0	0	0	2	1	0	0	1	4	1	10

コンサルテーション：臨床家による他の専門家への助言指導

○平成 25 年度は 848 件の相談があり、26 年度は上記の結果となった。相談件数の増加は、心の健康相談室の存在が市民、学校や関係機関などに徐々に認知された結果であると考えられる。核家族の子育て世代が多く住む市であるため、子育てに悩む 30～40 代の母親からの相談が多く、親だけでなく子供の相談や検査を平行して行い、親へ内容を精査し、アドバイスする事で育児不安などへの早期介入できている。

○公的機関であるがゆえに、市関係機関との連携は比較的スムーズであるが、外部機関との連携において個人情報の問題も含んでいるため、調整などに時間を要している。

○まだまだ新しい事業であるので、今後アウトリーチも含め、更なる展開を考えていきたい。

(問合せ先) 奈良県 香芝市 保健センター

TEL: 0745-77-3965

E-mail: hokensen@city.kashiba.lg.jp

URL: <http://www.city.kashiba.lg.jp/>